



**VISION &
STRATEGY**

第 **85** 期

事業報告書

平成13年4月1日～平成14年3月31日

SENKO

システム

情報技術を駆使し、 最適な流通ソリューション



代表取締役社長 小池 洋

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第85期事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当期の日本経済は、デフレ傾向が続く中、厳しい雇用・所得環境により個人消費が一段と冷え込んだことに加え、米国の景気減速を受けて輸出が減少し、民間設備投資も落ち込むなど、景気は極めて厳しい情勢の中で推移いたしました。

物流業界におきましても、貨物輸送量が減少傾向にある一方、一般市況におけるさらなる低価格化の進行と一段と高まる企業間競争の中、お客さまからの物流費低減要請が激しさを増し、厳しい経営環境が続きました。

当グループはこのような環境のもと、当期よりスタートさせました中期経営計画にもとづき、「流通情報企業」への転換を図るべく、ITを駆使した新ロジスティクスシステム(ベストパートナーシステム)の提供をはじめ、より高いCS(顧客満足)に向けて、高品質・高付加価値の物流サービスの提供による新規需要の開拓を積極的に進めてまいりました。また、利益の確保に向けて、社内改革プロジェクトの立ち上げによる効率化推進、経費削減、資金効率向上等、徹底したローコスト化への取り組みを推し進めてまいりました。しかしながら、このような経営全般にわたる体質改善と積極的な営業拡販に努めましたものの、物流費低減要請や住宅関連分野での輸送量低迷の影響が大きく、厳しい経営を余儀なくされるものとなりました。

この結果、連結営業収益は、1,735億78百万円と対前期比6.5%減、連結経常利益は、43億46百万円と対前期比9.8%減となりました。また、連結当期純利益につきましては、20億4百万円(前期は31億89百万円の損失)となりました。



を実現する

単体決算につきましては、営業収益は、1,474億56百万円と対前期比1.9%減、経常利益は、41億11百万円と対前期比11.7%減となりました。また、当期純利益につきましては、17億39百万円(前期は33億21百万円の損失)となりました。なお、利益配当金につきましては、1株につき3円75銭とさせていただきます、中間配当金とあわせて年間配当金は、年7円50銭とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、米国経済の底入れによる輸出の回復期待はあるものの、個人消費、設備投資とも回復の見通しは立たず、景気の先行きは依然厳しい状況にあります。

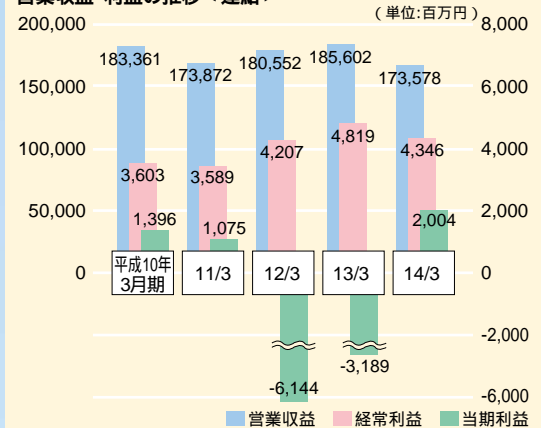
物流業界におきましても、国内貨物輸送量の低迷が続く中、企業間競争もさらに激化するものと思われます。また、デフレ傾向が続く中、お客さまにとっても、物流費の低減は重要な課題であり、高品質で効率的な物流システムの提案や包括的な物流業務受託によるコストダウンの提供等、物流企業が果たすべき役割は今後ますます重要となってきております。

このような状況のもと、当グループといたしましては引き続き中期経営三カ年計画の経営方針にもとづき、ベストパートナーシステムをはじめとする物流システムの拡充を図る中、お客さまへのSCM(サプライチェーン・マネジメント)の提供強化を図り、CSの向上を一層進めると共に、お客さまのサプライチェーン全般の受託に向けたサービス提供を進めることで、さらなる需要の開拓を図ってまいります。また、社内改革プロジェクトを中心に、経営の合理化・効率化によるローコスト体制の構築を徹底して推進すると共に、有利子負債の削減等を含め、財務体質の一層の改善を図ってまいります。さらに事業活動の基盤となる安全、品質を確実に向上させると共に、環境対策活動を一層強化し、企業としての社会的責任を全うしていく所存であります。

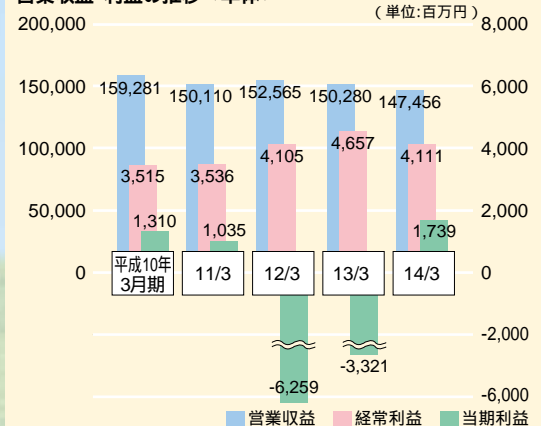
株主の皆さまにおかれましては、今後共より一層のご支援、ご鞭撻を賜われますようお願い申し上げます。



営業収益・利益の推移<連結>



営業収益・利益の推移<単体>



貨物自動車運送事業

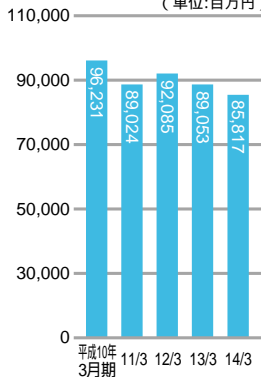
貨物自動車運送事業の当期の事業収入は、858億17百万円(対前期比3.6%減)で、事業収入構成比は49.4%となりました。これは、仙台PDセンター増設による総合スーパー関係貨物、宮崎地区におけるドラッグストア関係貨物の新規需要開拓等、量販店・小売関係貨物が堅調に増加いたしましたものの、住宅関連需要の減少による住宅輸送分野での輸送量減少に加え、素材関連貨物の減少等があったことによるものです。

当グループの貨物自動車運送事業は、全国にきめ細かなネットワークを展開しており、貸切輸送から積み合わせ輸送、ルート輸送、共同輸送等、お客さまの商品・物流形態に合わせた輸送・配送サービスを提供しています。輸送貨物は産業用原料から工業製品、建設・住宅資材、農産物、一般消費財、引越し荷物まで、衣・食・住すべてにかかわるものを扱っています。また車両も各種専用車・特殊車を用意するなど、フレキシブルな輸送体制が、メーカーをはじめとする多くのお客さまから高く評価されています。



「貨物自動車運送事業」
事業収入の推移

(単位:百万円)



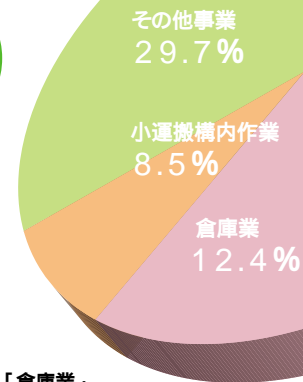
SENKO

倉庫業

倉庫業の当期の事業収入は、215億30百万円(対前期比5.0%増)で、事業収入構成比は12.4%となりました。これは、仙台PDセンター等において量販店・小売関係貨物を中心とした新規開拓による取扱物量の増加および浦和流通センターの稼働等があったことによるものです。

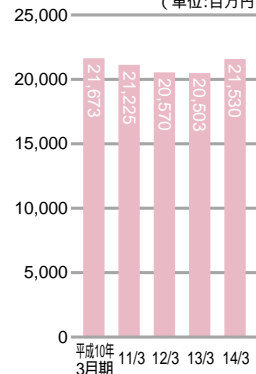
当グループの倉庫拠点は、従来の倉庫のイメージを一新した物流施設で、倉庫の持つ保管機能、配送機能、商品のセット組み、値札つけなどの流通加工や高度情報機能を組み合わせたサービスを提供する複合機能型の物流センターです。

現在、全国主要拠点に172棟を設置し、総保管面積は約73万㎡に及んでおり、これら倉庫拠点を中心に、多様化するお客さまのニーズを先取りしたシステムを使って物流と情報を一体化させ、お客さまの生産と販売を支援する各種物流サービスを提供しています。

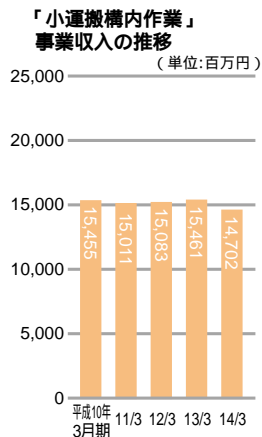


「倉庫業」
事業収入の推移

(単位:百万円)



小運搬構内作業



小運搬構内作業の当期の事業収入は、147億2百万円(対前期比4.9%減)で、事業収入構成比は8.5%となりました。これは、住宅関連分野での業務量の減少に加え、素材関連貨物を中心とした工場内作業の減少等があったことによるものです。

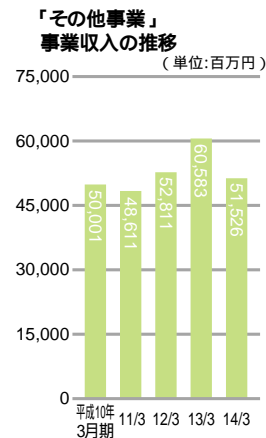
小運搬構内作業とは、お客さまの工場や倉庫などで、原材料のトラック積み卸しから製品の包装・梱包、積み込みといった物流作業から製造過程での各種作業を行うもので、物流のプロとしての確かな仕事で、工場内の物流管理を支えています。



貨物自動車運送事業
49.4%

NOW!!

部門別事業収入比率
(平成14年3月期)



その他事業

その他事業の当期の事業収入は、515億26百万円(対前期比14.9%減)で、事業収入構成比は29.7%となりました。これは、量販店・小売物流関連業務の増加はありましたが、センコーリース株の譲渡影響および石油販売・商事販売事業の縮小等によるものです。

当グループのその他事業には、鉄道利用運送、コンテナ船や専用船による海上運送、顧客専用倉庫やスペース貸し倉庫の不動産賃貸、フレイト・フォワードとして国際間の複合一貫輸送を行う国際物流、石油販売、商事販売、情報処理・ソフトウェア開発、自動車整備などが含まれています。



センコーのソリューション提案

1

Senko's Solution 1

量販・小売分野

センコーでは、永年培ってきた物流のプロフェッショナルとしての豊富なノウハウと、先進的なIT(情報技術)を駆使する「流通情報企業」として、また頼れるビジネスパートナーとして、お客さまが抱えるさまざまな課題を解決するソリューション提案を積極的に推進しています。今回はその中から、近年大きな成長を遂げてきている「量販・小売分野」のソリューションを紹介します。

ベストパートナーシステムを基盤に物流課題に対応。 トータルコスト削減、効率的サプライチェーンを実現します。



ベストパートナーシステムを基盤に、IT(情報技術)を駆使したセンコーの量販・小売物流システムは、日用雑貨からアパレル、食品に至るまで、すべてのチェーンストア様の取扱商品に対応できます。そして、お客さまのニーズにあわせて常に最適な物流オペレーションを提供し、物流のトータルコスト削減と、効率的なサプライチェーンの構築をサポートしています。一方、ベンダー様に向けても商品形態や特性に合わせた最適シ

ステムを構築。チェーンストア様からの受注からピッキング、流通加工、出荷検品、出荷、店舗配送まで、すべての物流業務を代行します。また、商品の入荷から出荷までは最新の情報システムで管理。各種物流・商品情報の提供により、ベンダー様のローコストオペレーションを支援します。

たとえば、こんなソリューションをご提案します。

あらゆる業種の皆様に最適な物流オペレーションを提供。

TCシステム

仕入先から集荷、または持ち込まれた店舗別梱包商品を集約し、店舗別・カテゴリー別に仕分けして定時一括納品するシステム。

PCシステム

仕入先からアイテム別総量納品された商品の検品、値付け、カテゴリー別梱包を行うシステムで、TCシステムに連動します。

DCシステム

戦略的商品、または仕入先の委託商品を保管し、発注指示に応じてピッキングを行うシステムで、PC・TCシステムに連動します。

クロスドックDCシステム

仕入先から総量納品された商品を、出荷分と在庫分の2通りに分類し、出荷分はダイレクトに一括納品するセンターシステム。

NEW STRATEGY OF SENKO

モバイル端末を使った「e-Cashサービス」をスタート

当社ではモバイル(携帯)端末を使ったデビットカード(J-Debit加盟の金融機関キャッシュカード)およびクレジットカードの決済サービス「e-Cashサービス」を開発し、昨年11月より引越し業務に導入しました。この「e-Cashサービス」を活用すれば、お客さまは忙しい引越し時に代金を用意したり振り込みに出向く必要がなく、モバイル端末にあらかじめ入力されている金額を確認してから暗証

番号を押すだけで決済は完了。また、決済データは経理システムと連動し、入金、売掛金の消し込みまで自動処理するため、事務の効率化も図られます。現在のサービス対象地域は首都圏と大阪地区ですが、将来的には全国各地に拡大させていく予定であり、引越し業務以外に、通信販売やインターネットサービスなどの代金集金代行業務にも活用していく計画です。



九州でベストパートナーシステム導入の2つの物流センターが稼働

1月から本格稼働している「大分メディカル物流センター」は、倉庫内が空調管理された定温倉庫。建物延床面積は5,350㎡で長さ100mのルーフや電動移動ラックが設置され、ITを駆使した様々な「ベストパートナーシステム」も導入されています。現在は主として医療機器メーカー様のセンター業務を行っていますが、今後は一般貨物も対象とし、多様なユーザーからの受注業務代行やデリバリー業務も視野に入れていきます。

また、昨年の11月から稼働している「宮崎物流センター」は、南九州地区では初の量販・小売物流専用センターで、建物延床面積は5,950㎡。九州を地盤とするドラッグストアチェーン様の仕入れ商品のセンター受け入れ、保管、検品、梱包、店舗別仕分け、積み込みから九州管内全店舗への配送まで物流業務全般を受諾し、お客さまの販売活動やサプライチェーンマネジメント構築をサポートする最新鋭センターとして、重要な役割を担っています。



大分メディカル物流センター

静岡に量販・小売分野を強化する物流センターがオープン

静岡東支店の新富士PDセンター3号倉庫が3月に完成しました。新倉庫は物量増加対応のみならず、大手ドラッグストアチェーン様が積極的に展開している、メーカー直接取引の物流拠点としての機能を強化すべく建設されました。建物延床面積は4,060㎡で、この他にもホームセンター様などさまざまな量販・小売店の商品保管から検品、店別仕分け、配送といった物流業務全般を担っています。

また、同ドラッグストアチェーン様の第2センターと

して、静岡市内に「静岡物流センター」もオープンし、昨年10月から営業を開始しています。新センターは、従来から同社の物流業務を担っていた新富士PDセンターだけでは、お客さまの店舗拡大による対応には限界があるとの判断から誕生。建物延床面積2,937㎡の2階建てで、お客さまのニーズである店舗別・カテゴリー別の仕分けだけでなく、売場別仕分けにも対応しており、現状では45店舗分の商品仕分け処理が可能となっています。



新富士PDセンター3号倉庫

DATA OF 2001

連結

連結貸借対照表

(平成14年3月31日現在)

単位:百万円

資産の部		負債の部	
流動資産	43,658	流動負債	45,993
現金及び預金	15,264	支払手形及び営業未払金	13,047
受取手形及び営業未収入金	24,471	短期借入金	18,344
その他	4,102	1年以内償還予定の社債	5,000
貸倒引当金	180	1年以内償還予定の転換社債	44
		その他	9,556
固定資産	89,186	固定負債	45,762
有形固定資産	69,371	社債	5,000
建物及び構築物	30,793	転換社債	13,330
機械装置及び運搬具	3,294	長期借入金	6,953
土地	34,529	退職給付引当金	17,356
その他	754	その他	3,122
無形固定資産	893		
投資その他の資産	18,921	負債合計	91,755
投資有価証券	1,228		
繰延税金資産	9,615		
その他	8,336		
貸倒引当金	258		
		資本の部	
		資本金	18,295
		資本準備金	16,386
		連結剰余金	6,422
		その他有価証券評価差額金	13
		自己株式	2
		資本合計	41,089
資産合計	132,845	負債及び資本合計	132,845

連結損益及び剰余金結合計算書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

単位:百万円

営業収益.....	173,578
営業費用	168,700
営業利益.....	4,878
営業外収益	751
営業外費用	1,283
経常利益.....	4,346
特別利益	753
特別損失	1,605
税金等調整前当期純利益.....	3,493
法人税、住民税及び事業税	1,614
法人税等調整額	125
当期純利益.....	2,004
連結剰余金期首残高	5,274
連結剰余金減少高	856
連結剰余金期末残高.....	6,422

連結キャッシュ・フロー計算書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

単位:百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー	4,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,082
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,553
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の減少額	2,604
現金及び現金同等物の期末残高	15,264

単体

貸借対照表

(平成14年3月31日現在)

単位:百万円

資産の部	
流動資産	37,725
現金・預金	13,790
受取手形	3,974
営業未収入金	16,614
繰延税金資産	535
その他の流動資産	2,856
貸倒引当金	47
固定資産	89,251
有形固定資産	67,618
建物	26,985
船舶	877
車輛運搬具	1,382
土地	33,850
その他の有形固定資産	4,521
無形固定資産	769
投資等	20,863
投資有価証券	914
繰延税金資産	9,323
その他の投資	10,792
貸倒引当金	166
資産合計	126,976

負債の部	
流動負債	40,755
支払手形	1,012
営業未払金	8,403
短期借入金	18,315
1年以内償還予定の社債	5,000
1年以内償還予定の転換社債	44
その他の流動負債	7,979
固定負債	45,346
社債	5,000
転換社債	13,330
長期借入金	6,936
その他の固定負債	20,080
負債合計	86,101
資本の部	
資本金	18,295
法定準備金	17,892
剰余金	4,700
(うち当期利益)	(1,739)
評価差額金	12
自己株式	2
資本合計	40,874
負債及び資本合計	126,976

損益計算書

(平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)

単位:百万円

営業収益	147,456
営業費用	142,905
営業利益	4,551
営業外収益	754
営業外費用	1,193
経常利益	4,111
特別利益	582
特別損失	1,485
税引前当期利益	3,209
法人税、住民税及び事業税	1,527
法人税等調整額	58
当期利益	1,739
前期繰越利益	966
中間配当額	428
当期末処分利益	2,277

利益処分

単位:百万円

当期末処分利益	2,277
固定資産圧縮積立金取崩額	2
特別償却積立金取崩額	21
合計	2,302

これを次のとおり処分します。

利益配当金	419
(1株につき3円75銭)	
別途積立金	1,000
次期繰越利益	883

DATA OF SENKO

[会社概要]

会社の概要 (平成14年3月31日現在)

商号	センコー株式会社
資本金	18,295,643,751円
創業	大正5年9月
設立	昭和21年7月
事業所	210ヶ所
従業員	3,837名
貨物自動車	1,905輛
所有船舶	7隻
倉庫	733,174㎡

主要な事業所 (平成14年4月1日現在)

本社

大阪市北区大淀中一丁目1番30号

ロジスティクス営業本部

・関東ブロック統括営業部

東京都港区浜松町一丁目26番1号

・中部ブロック統括営業部

名古屋市西区牛島町5番2号

・関西ブロック統括営業部

大阪市北区大淀中一丁目1番30号

・九州ブロック統括営業部

福岡市東区箱崎ふ頭五丁目1番40号

部支店

札幌、仙台、茨城、北関東、埼玉、柏、東京、

神奈川、千葉、静岡東、静岡西、名古屋、

三重、北陸、京滋、京滋南、大阪、阪神、

岡山、倉敷、山口、福岡、延岡、水俣、

国際物流、海運、通運

役員 (平成14年3月31日現在)

代表取締役会長	馬場 英次
代表取締役社長	小池 洋
代表取締役副社長	田中秋夫
常務取締役	福田泰久
常務取締役	賀木 勲
常務取締役	清宮保之
取締役	池田宜郎
取締役	和田定晋
取締役	柘植道義
取締役	伊藤忠雄
取締役	佐賀和夫
取締役	後藤和男
取締役	幡野哲夫
取締役	鈴木 勲
常勤監査役	林 正浩
常勤監査役	高橋三郎
常勤監査役	浅野英雄
監査役	殿村英幸

子会社 (平成14年4月1日現在)

センコー商事(株)
(株)センコー保険サービス
センコー情報システム(株)
(株)センコー引越プラザ
札幌センコー運輸(株)
東北センコー運輸(株)
関東センコー運輸整備(株)
東京センコー運輸(株)
千葉センコー運輸整備(株)
富士センコー運輸(株)
東海センコー運輸(株)
滋賀センコー運輸整備(株)
大阪センコー運輸整備(株)
中四国ロジスティクス(株)
三協貨物(株)
山陽センコー運輸(株)
(株)四国冷凍運輸倉庫
福岡センコー運輸(株)
熊本センコー運輸(株)
宮崎センコー運輸整備(株)
埼玉センコーアポロ整備(株)
大東センコーアポロ(株)
北陸センコーアポロ(株)
宮崎センコーアポロ(株)
中日本資材(株)
センコーフーズ(株)
(株)クレフィール湖東
広州扇興物流有限公司

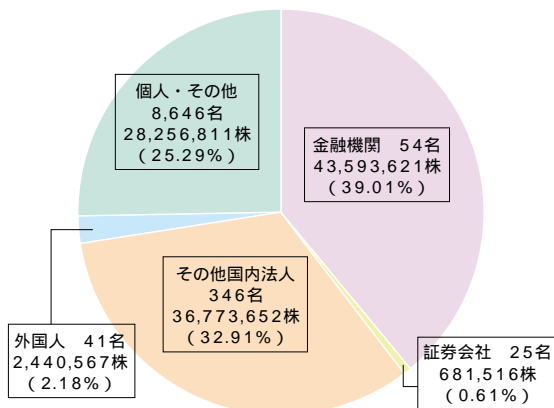
[株式情報]

株式の状況

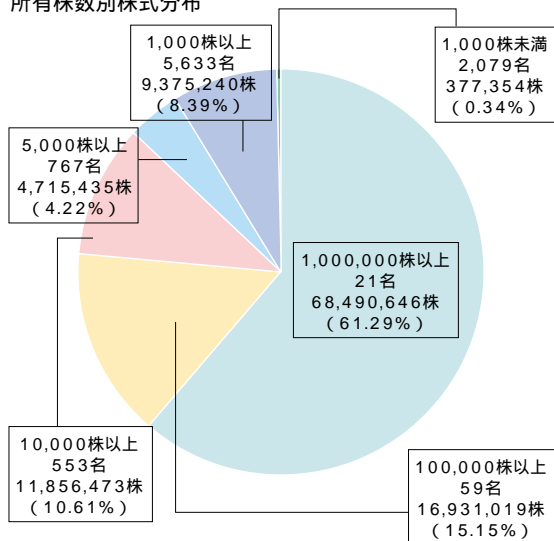
(平成14年3月31日現在)

発行済株式総数 111,746,167株
株主総数 9,112名

所有者別株式分布



所有株数別株式分布



大株主(上位10位)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
旭化成株式会社	10,676,726	9.55%
積水化学工業株式会社	6,785,900	6.07%
三菱信託銀行株式会社	5,360,000	4.80%
株式会社UFJ銀行	5,300,516	4.74%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	5,197,000	4.65%
センコーグループ従業員持株会	4,892,743	4.38%
東京海上火災保険株式会社	4,439,170	3.97%
エイアイジー・スター生命保険株式会社一般勘定	3,200,000	2.86%
ニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.84%
三菱信託銀行株式会社信託口	2,934,000	2.63%

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月中
配当金受領株主確定日	3月31日(利益配当金) 9月30日(中間配当金)
名義書換代理人	三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
電話照会先	三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞



〒531-6115 大阪市北区大淀中一丁目1番30号 TEL.(06)6440-5155(代表)

URL <http://www.senko.co.jp/>